

コースコード：RH-DO408

税抜価格：245,000円

日数：5日間

前提条件

Red Hat 認定システム管理者 (RHCSA) である、または Red Hat® Enterprise Linux® の同等の知識と経験を有する Red Hat 認定エンジニア (RHCE) を取得していると有利

受講対象者

このコースは、Linux システム管理者、DevOps エンジニア、インフラストラクチャ自動化エンジニア、システム設計エンジニア向けに作成されています。カリキュラムは特に構成管理の自動化の担当者を念頭に置いて考えられており、一貫性があり反復可能なアプリケーション・デプロイメント、開発、テスト、プロダクション用サーバーのプロビジョニングとデプロイ、DevOps CI/CD ワークフローとの統合を取り扱います。

コース概要

このコースは、Linux システム管理者、DevOps エンジニア、インフラストラクチャ自動化エンジニア、システム設計エンジニア向けに作成されています。カリキュラムは特に構成管理の自動化の担当者を念頭に置いて考えられており、一貫性があり反復可能なアプリケーション・デプロイメント、開発、テスト、プロダクション用サーバーのプロビジョニングとデプロイ、DevOps CI/CD ワークフローとの統合を取り扱います。

目的

Ansible による管理対象ホスト上のシステム管理タスクの自動化、Ansible Playbook の作成とタスク実行の標準化、Playbook の集中管理、そして Ansible Tower を使用して Web インターフェイスの反復実行をスケジューリングする方法を習得する。

また Ansible Vault により Ansible の暗号化を管理したり、Ansible Tower をデプロイしたり、それを使用してシステムを管理したり、Vagrant とともに DevOps 環境で Ansible を使用する方法を理解する

アウトライン

Ansible の概要

Ansible の概念を説明し、Red Hat Ansible Engine をインストールします。

Ansible のデプロイ

Ansible を構成し、ホストを管理して Ansible のアドホックコマンドを実行します。

Playbook の実装

シンプルな Ansible Playbook

を作成して実行し、複数の管理対象ホスト上でタスクを自動化します。

変数およびファクトの管理

変数を使用する Playbook を作成して、管理対象ホストの情報を参照する Playbook とファクトの管理を単純化します。

タスク制御の実装

Ansible Playbook

でのタスク制御、ハンドラー、およびタスクエラーを管理します。

管理対象ホストへのファイルのデプロイ

Ansible で管理されるホスト上のファイルをデプロイ、管理、調整します。

大規模プロジェクトの管理

より大規模で複雑なプロジェクト向けに最適化された Playbook を作成します。

ロールによる Playbook の単純化

Ansible のロールを使用して Playbook の開発を迅速化し、Ansible コードを再利用します。

Ansible のトラブルシューティング

Playbook と管理対象ホストをトラブルシューティングします。

Linux 管理タスクの自動化

一般的な Linux システム管理タスクを Ansible で自動化します。

理解度の確認

Ansible をインストール、最適化、構成して管理対象ホストを管理し、このコースで習得したスキルを実際に試します。